

こっぴた 議会だより

141号

2011.7.27発行
愛知県幸田町議会

- 新駅 パークアンドライド駐車場2・3
- 一般質問「防災対策の抜本的4~13
見直し強化を」など10人
- 委員会レポート「事業仕分け」ほか14・15
- あい・らぶ・マイタウン16
「あいさつから」
「地域に支えられての交流会」
「元気なお年寄りが多い」

フクロウと遊ぶ園児（深溝保育園）

新駅

パークアンドライド

500台の駐車場整備始まる



6月
に招集、23日まで
の17日間開催しました。

報告議案3件、工事の
請負契約（新駅周辺
整備）など単行議案4件、
補正予算1件の議案が上程
され、いずれも原案どおり
可決しました。そのほか陳
情1件を審議し不採択しま
した。

議員提出議案として、農
業委員会委員の推薦、
特別委員会設置2件が提出
され可決しました。

最終日に選挙管理委員
会委員及び同補充員
を選任しました。

一般質問では、10人が
町政の問題点をた
だしました。

6月
あ
ら
ま
し
定
例
会
の

駐車場の請負契約

新駅周辺整備事業で、
パークアンドライド駐車場
500台を設置する。

全体事業費4億6300
万円のうち、今回は土木工
事（路盤工・縁石工・排水
工一式）を整備する。

・契約金額

7350万円

・契約の方法

10社による指名競争入札

・契約の相手方

株式会社加藤工業

・工期

平成23年11月30日まで

Q パークアンドライド駐
車場の特色は。

A 相見エコまちづくり計
画で、環境に配慮した交
通体系を形成する。

Q 料金徴収方法は。

A 自動開閉機設置を予定
している。

Q 工事の分割発注は割高
ではないか。

A 地元業者育成の目的も
ある。今後5工区に分け
発注する予定。

Q 液状化の可能性が高い
地域であり耐震化対策
は。

A 簡易構造物は耐震化し
なくてもよい。2.8m下は
粘土質で液状化は心配
ない。

(反対2賛成13で可決)

国民健康保険 課税限度額を 77万円に引き上げ



エアロビクス

国 国民健康保険税条例の改正で、基礎課税額（医療分）51万円に、後期高齢者支援金等課税額を14万円に、介護納付金課税額を12万円に引き上げ、中間所得層の急激なしわ寄せを避ける。

Q 対象世帯数と人数、影響額は。
A 120世帯で460人程度。約940万円の増収見込みである。
Q 引き上げは滞納者が増える。一般会計の繰り入れで軽減を。



一般会計補正予算
1680万円

- 民間木造住宅耐震改修費補助金
(1件あたり90万円)
780万円
- 災害対策費(備蓄品)
900万円
(全員賛成で可決)

補正予算

Q 対象者はいるか。
A 軽自動車が1人、固定資産保有者が5人いるが被災していない。
(全員賛成で可決)

町税条例の一部改正

A 全体の13%が滞納している。今後、見極めながら繰り入れる。
(反対2賛成13で可決)

議員提出議案

防災対策特別委員会

設置

自然災害から町民の生命財産を守り、万一災害が発生した場合に被害を最小限にとどめ、速やかな救助・復旧活動が行えるように調査研究をするため
(全員賛成で可決)

総合開発特別委員会

設置

町土の合理的かつ有効利用を図るため土地の総合的利用計画及び調査研究をするため
(全員賛成で可決)

幸田町農業委員会委員

の推薦

議会推薦の農業委員会委員
高橋 多恵子 (坂崎区)
鈴木 敏 (鷺田区)
稲吉 美子 (桐山区)
(全員賛成で可決)

選挙管理委員会委員・補充員を選任

委員
藤江 徹 (長嶺区)
吉見 紀元 (横落区)
高橋 卓三 (芦谷区)
齋藤 智計 (市場区)
補充員
岩瀬 秀夫 (上六栗区)
都築 義之 (新田区)
志賀 猛 (岩堀区)
國弘 直樹 (桜坂区)

任期は、平成23年8月6日から4年間。

陳情

働く者の権利を守り、住民の安全・安心を確保し、憲法擁護・核兵器のない世界を求める陳情書(春の自治体キャラバン実行委員会・代表・樽松佐一)
(反対13賛成2で不採択)

町づくりの 考えは？

問

防災対策の抜本的見直し強化を



丸山 千代子 議員

答 国・県との整合を図る

問 東日本大震災の教訓を受け、巨大地震への対策は急務である。
東海・東南海・南海の3連動地震は、30年以内に発生する可能性が8%と切迫していると予測され、防災対策の総点検が必要である。

- (1) 地域防災計画の見直しと時期は。
(2) 業務継続計画の策定を。
(3) 消防力の充実と計画。
(4) 学校や公共施設、ライブラインの耐震強化を。

- (5) 震源域の真上にある世界一危険な浜岡原発の廃炉を求め安全対策を。
(6) 自然エネルギーへの取り組みを。

答 **総務部長** (1) 国・県の防災計画との整合性を図り、秋頃には方針を示していく。

(2) 業務が遂行できる計画は定めていく。

消防長 (3) 平成24年からの10カ年計画で、人の充足を図っていききたい。

教育部長 (4) 非構造部材の耐震化は、文科省の通知に基づき取り組む予定である。

町長 (5) 国の動向を見ていく。

総務部長 (6) 町の新エネルギービジョンの中ですすめていく。



耐震改修

耐震改修と リフォーム併用を

問 東日本大震災から防災意識が高まり、木造住宅耐震補強工事補助の申し込みが増えている。
耐震強化は、住民の生命と財産を守り、必要に応じた改修が急がれる。

- (1) 木造住宅耐震化件数と進捗率は。
(2) 設計費を加え、補助の増額を。
(3) 耐震改修に合わせてリフォーム助成の併用で促進を。
(4) リフォーム助成は地域経済の活性化に効果をあげる。社会資本整備総合交付金の活用を。

時期尚早と 考えている

- 答** **建設部長** (1) 対象戸数は2690戸。促進計画の中で平成27年度までの耐震改修目標は90戸で、進捗は47%である。
(2) 当面は現行で進めていく。
(3) 現在はまだ時期尚早と考えている。
(4) 耐震改修の方を優先的に活用していきたい。
今後は様子をみて、リフォーム助成は考えていきたい。

その他の質問項目

・小学校教室に扇風機設置を。



大嶽 弘 議員

問 幸田駅周辺の防犯・防災対策は

答 市街地整備の中で計画



幸田駅前再開発

問 町の中心市街地活性化計画に関し、駅前再開発を含め、以下を問う。
(1) この計画により、今までに実施した主な事業内容は。
(2) 駅前再開発の事業見通しと幸田ブランドの発信は。
(3) 駅前土地区画整理事業での防犯・防災対策計画

答 **建設部長** (1) 「安心でにぎわいのあるまち幸田町」の中心の顔づくりということですすめてきた。中央公園、また駅前の土地区画整理、共同化

(4) 各地で買い物弱者対策が議論されている。本町の対応は。

問 町地域防災計画では、岡崎医師会、デンソーなど18団体と災害応援協定が締結されている。
(1) この応援協定が活用された事例は。
(2) 隣接市の状況を把握しているか。特に、岡崎市と比べてどうか。
(3) 今後、協定内容の見直し拡大を含め在り方をどのように考えるか。

防災計画の 応援協定拡大を

事業の商業の活性化。
(2) 2012年春、駅前複合施設オープンの際「こなた夢まち舞台」で食をテーマにしたテナントを募集中。その中で幸田ブランドを出していく。
(3) セキュリティ、防災、排水・浸水対策を市街地整備の中で計画。
健康福祉部長 (4) 町単独事業として、軽度生活者支援でサービスを提供中、周知もしていく。

積極的に 検討していく

答 **総務部長** (1) 17種類の協定を結んでおり、台風時の倒木処理、土砂の片付け、防災ヘリとの支援協定で、防災訓練・救助活動などがある。
(2) 岡崎市と比べ、圧倒的に少なく、学ぶところが多い。
(3) JA、大手スーパーとの食料品、日用品、資材など、流通における備蓄について協議、申し入れを積極的に検討をしている。

その他の質問項目

・東日本大震災による町税収入の影響は。

酒向 弘康 議員



集結する愛知県後方支援隊

問 急げ、「災害支援協定」の締結

答 複数の市町に提案する

問 東日本大震災の教訓から、最悪のシナリオを想定し、防災危機管理、行政

と地域が一体となった「減災」対応を問う。
(1) 本町にM9.0が発生した

場合の被害の想定は。

(2) 津波危険マップ、液状化マップなどの作成状況

(3) 災害時要援護者制度の取り組み状況と「共助」

の輪の拡大の考え方は。

(4) 「すぐに支援ができ、支援が受けられる」他自治体との災害支援協定の締結を提案する。

(5) 節電、省エネルギー対策の取り組みの考え方は。

答 **総務部長** (1) 東海・東南海連動地震のエネルギーの10倍となり、現在の想定を確実に上回る。

(2) 津波の心配は不要。液状化マップは平成15年度に県が作成している。町の冠水道路マップは作成中である。

(3) 加入状況は3%に落ち込んでいる。地域との共助の仕組みを考えていく。

(4) 検討事項の一つに加えて複数の市町と協定を提案していく。

(5) 公共施設は、こまめな消灯と室温管理などを徹底する。家庭、事業所へも広げていく。

どう活かす

「事業仕分け」

問 「幸田町版事業仕分け」の実施に向け、すま方、考え方を問う。

(1) 目的と決意を再確認。

(2) 職員のモチベーション向上、意識改革が図れるチャンスだ。

(3) 町政を徹底的に透明化し、「見える化」が必要。

対象事業の選定過程、仕分け人、判定人の人選について公開を。

予算編成に結びつける

(4) 他事業にも「事業仕分け」の考え方を横展開すべきだが、考えは。

答 **町長** (1) 住民に事業の「見える化」をおこない職員と住民が理解し、事業を再見直しをして、予算編成に結びつける。

総務部長 (2) ビデオ研修など住民目線で実施している。

(3) 透明性を高め、プロセスを明らかにしていく。

(4) 700事業のうち、今回は19事業と3%だが、町民の目線がどのへんにあるかを職員と共有し、他の事業へも反映していく。



中根 久治 議員

問 「こども課」の新設を

答 行革の中で検討する

- 問** 町政は町内の子どもの誰にも等しく関わっているのかという疑問から、その実態の解明と、町の保育行政の基本、さらに、縦割り行政の影響を無くすため、総合的な担当部署として「こども課」を提案する。
- (1) 町立保育園児とそれ以外の子どもとの比率は。
- (2) 町立保育園以外の保育内容を把握しているか。
- (3) 4割近い町立保育園児以外の子どもたちのために、担当を統廃合して「こども課」とし、町の支援や合同研修など、幼保小の連携をすすめては。
- (4) 保育所の民営化にむけ、現状とその方向性は。
- 答** **参事** (1) 3歳以上の町立保育園児は833人で、町全体の63%である。
- 教育部長** (2) 私立の保育園内容は管理外だが、就学については教育委員会が情報交換、教育相談などおこなっている。
- 参事** (3) すべての子どもに対し平等で継続した子ども施策は、国の幼保一体化の状況を見極め、町行革プロジェクトの組織

町長 (4) 国の「こども園」の具体策が出てくる段階に合わせ、内容を検討していく。

駅で分断された 東西問題

問 JR三ヶ根駅の東口側と西口側の往来が、不便で危険な状況である。地域住民の利便性を大切にした、安全で容易な通路の設置を。

- (1) 三ヶ根駅の自由通路のバリアフリー化を急ぐ必要がある。
- (2) 他の2駅と同列にするためにも、地域住民の利便性と安全を考えると、深溝大踏切の変則的な一方通行の解消を。

当面は現状で

答 **総務部長** (1) 三ヶ根駅は現在3000人を下回る乗降客数であり、バリアフリー新法の対象に

建設部長

(2) 三ヶ根駅南の大池田踏切と西尾幸田線の跨線橋が、平成10、11年の事業で供用開始された。これにより、深溝大踏切は非常に狭く、国道と隣接し危険な踏切と

達していない。また駅がJRの財産であり、改修など協議をしていく。

して、方向規制が導入された。国道248号4車線化完了で整備済み路線という位置付けであり、踏切事故防止のため当面一方通行の形でお願いしたい。



待たれるバリアフリー化

中根 秋男 議員



問 新規産業誘致による産業振興は

答 雇用と税収、環境を考慮する

問 新規産業誘致による、産業振興を問う。

- (1) 現在までの誘致企業は何か。
(2) 今後誘致する業種区分は。

(3) 町としての営業努力と、町長自身の、トップセールスを。

- (4) 誘致する企業の規模は。
(5) 町の特産物を生かした

加工工場を、誘致する考えは。

- 答** **総務部長** (1) 昭和40年以降で37社である。
(2) 将来性のある会社、環境分野、農業の第2次、第3次産業化もある。

町長 (3) トップリサーチをしている。事前の用地確保が大切である。

総務部長 (4) 企業規模より雇用や環境、そして地域貢献に期待したい。
環境経済部長 (5) 農産物の年間の安定した供給が必要だ。

大学、専門学校の誘致を

問 幸田町も都市計画が進んでいる中で、若者を育

てる意味でも大学の研究部門を誘致してはどうか。

また、産業の研究機関の誘致をして、「産・学・官」が一体となって町づくりをするのはどうか。

研究機関を含め検討

答 **町長** アカデミックな機関を誘致するためにトップセールスとトップリサーチをすすめる。研究機関と一緒に、新しい産業を興し、起業家も増やし、農・工・商のバランスのとれた住みやすい町をつくっていく。

総務部長 幸田町の第5次総合計画に誘致の姿勢を明らかにしている。大学などの高等教育機関に限らず、

企業の研究機関も含めて、若者の多い幸田町に誘致を検討する。



最初の工業団地（駅西）



最近の工業団地（須美）



志賀 恒男 議員

問 情報発信力強化を

答 充実を図っていく

問 本年4月開催の「柿の里・幸田」の通常総会で、「売上げ好調な今こそ売上げ低迷時の備えをすべき」との議論が活発になされた。

西尾市のホームページには「道の駅にしお岡ノ山」のバナー広告が載っている。近隣各市のホームページはカラフルで観光情報も豊富、バナー広告の収入もある。本町も導入を。

町のホームページは文字が多く、暗くて古いイメージ。特産品情報や買物情報も皆無に等しい。

町外から多くの観光客、買物客を呼び込むホームページの改善強化を提案する。

答 **総務部長** 平成18年度に業者委託で現在のホームページの原形をつくった。

職員の研修をおこない、各課の担当が更新している。同じ目線での見渡しはしていないため、ページの中には記述の仕方など温度差がある。

今後できるところから充実を図っていききたい。

バナー広告は、実施を前提に取り組んでいく。

町内の東西道路網整備を

問 幸田町都市計画マスタープランに道路整備の方針が示されている。

道路網の最大の欠点は東西の幹線道路整備が遅れている。事実野場から永野に向かう信号交差点、六栗から錦田ガードに向かう信号交差点、上六栗の2カ所の信号交差点などで交通渋滞や交通事故が頻繁に起きている。

町では交通渋滞の把握をどのように実施しているのか。

か。そして信号制御の見直しをする考えや道路整備の優先順位の考え方は。東西道路網整備の促進を。

野場横落線を促進

答 **建設部長** 町の都市交通マスタープランに基づき県道は県が、町道は町が各路線の交通量調査をおこなっている。

信号制御は、まず道路をつくって交差点改良をしていきたい。

優先順位は「事業が継続



野場横落線（岩堀地内）

その他の質問項目

・幸田駅西の開発を。

しているか、事業効果が上がるか、事故・交通渋滞が多いか、活性化につながるか、シンボリックな路線か、利便性・安全性が望まれるか」の6点を考えて順位が決められている。

野場横落線を菱池遊水地と併せて促進していく。

問 園・学校の窓ガラス飛散防止を

答 計画的に対応していく



水野 千代子 議員

問 「災害に強いまち」にするため以下を問う。

- (1) 防災計画の見直し基準。
- (2) 被災者支援システムの操作訓練と、(仮)災害情報支援システムの導入を。

- (3) 災害時要援護者の登録方法見直し、避難訓練を。
- (4) 保育園、児童館、小中学校の避難訓練の見直しと、窓ガラスの飛散防止対策を。

- (5) マンホール利用型トイレの備蓄を。
- (6) 食物アレルギー対応の乾パンなど備蓄と、協定で「流通備蓄」を。
- (7) 水害時、救急車・消防車がスムーズに出動できる出入口の確保を。

答 **〔総務部長〕** (1) 想定される被害項目のピックアップを進め、国の指針

が示された時、速やかに対応できるようにする。

- (2) すぐに使えるか疑問。安否情報システムと全国避難システムとのリンクを検討。

- (3) 積極的に勧奨をおこなう、登録率向上を目指す。

- (4) 停電時、緊急地震速報時の訓練を検討中。

- (5) 原則強化ガラスの採用、フィルムで計画的に対応。

- (6) 当面、災害用トイレ、排便収納袋で対応。

- (7) 対応用白飯、500食備蓄、流通備蓄は検討。

- (8) 平成25年度から一体整備として事業化を予定。

給食に食物アレルギー対応を

問 食物アレルギーを持

つ子どもは年々増加し、ごくわずかな摂取でも強い症状を引き起こす子どもも増加傾向にある。

- (1) 保育園、小・中学校の児童生徒の実態と、給食の対応は。
- (2) 「食の大切さ」「食事の楽しさ」を知るため、学校給食センターで、食物アレルギー対応食の実施を。



窓ガラス飛散防止を（深溝保育園）

研究し、対応を考えていく

- (3) 災害時に食物アレルギー専用の調理場や調理器具は、避難所の非常食に対応が可能となるが、その考えは。

答 **〔参事〕** (1) 全保育園児986人中、42人4.3%程度はなし。

〔教育部長〕 小学校51人、アナフィラキシーなど2人。中学校は20人。

- (2) 現在の給食センターの状況では、対応は困難。
- (3) 移動式の調理台などを使って一部除去食対応の給食センターもあるため、研究し、対応を考えていく。



伊藤 宗次 議員

問 国保税増税やめて暮らし支援を

答 内容を精査し検討する



風力発電（安城市地内）

問 国保制度は、社会保険制度だ。高すぎて払い切れない国保税を毎年10%を超す増税で6千万円を超す滞納額・滞納繰越額は、2億6千万円を超す。

町民の収入は減りつづけている。収入減を理由にした減免は、前年収入300万円を500万円に。当年収入減見込みも、2分の1を3分の2、10分の8に改める。恒常的な低所得者の減免基準の引き上げを。滞納を理由に家屋敷を招き上げたり、保険証取り上げなど無慈悲な徴税強化をすべきでない。

答 **健康福祉部長** 法定減免は、7割・5割・2割の軽減制度があり、世帯主と被保険者の町民税非課税世帯は、均等割と平等割の2割を減免する規定を設け実施している。当面この制度を維持していくが、研究はしていく。

町長 国保会計は、リーマンショックや大震災以降、大変厳しい状況下であり、町民も同様に厳しい状況と承知している。課税状況など内容を精査し検討をしていきたい。

自然エネルギー 活用に町補助を

問 東京電力、福島第一原発の水素爆発、メルトダウンなどの事故は、原発の「安全神話」を突き崩した明白な人災だ。

原発を推進してきた政府と電力会社の責任は重大だ。原発に依存したエネルギー政策から自然エネルギーを多様に活用する政策に転換すべきだ。
太陽光発電設置費補助金

近隣の状況を 見ながら検討

は32万円から16万円に半減させた。安城市なみに42万円に引き上げを。
工口給湯設置費補助、燃料電池設置費補助制度の創設を。
原発ゼロへの取り組みと政策の転換を。

答 **町長** 日本は原子力発電と一緒に高度成長をしてきたと思う。今後、国が原発を改めていく方向なので自然エネルギーを入れる方策を考えていく。

環境経済部長 太陽光発電の推進を図るために、最初は1KW当たり8万円の補助だったが、普及がすすみ設置費も安くなってきた。1KW当たり4万円を維持し今後も続けていく。
高効率給湯器設置費補助など近隣でも助成している。状況を見ながら検討していく。

浅井 武光 議員



豊坂小学校防災備蓄倉庫

問 大震災の教訓と防災への備えを

答 避難所と備蓄を見直す

問

(1) 地盤の液状化について、区画整理や住宅開発された地区の土地の歴史を調査する考えは。

(2) 避難場所など位置指定は小学校、中学校と思う

が、近くの集会場、企業にも働きかけ避難所を指定する考えは。また、地域避難所の備蓄の考えは。

(3) 被災したとき、安否の確認や支援での最低単位

が大変重要となる。数件の組、班編成を進めていく考えは。

(4) 地域防災訓練を、今後小学校区で実施する考えは。

答

(総務部長)

(1) 液状化の可能性調査結果は県から示されている。土地の歴史は、昭和45年の航空写真に基づいた都市計画地形図がある。

(2) 企業施設の避難所への活用は聞き取り調査する。避難所の備蓄も見直す。

(3) 要援護者や安否確認は組織化や取り決めに区長会などへ働きかけたい。

(4) 防災訓練や研修を学区や区単位で実施している地域はある。町として訓練やリーダー育成なども積極的に支援していく。

問

(1) 農業問題

オペレーターの経営安定を図るために組合の設立と、災害に強い農業経営をおこなうための施策などを、農協と共に検討する考えは。

(2) 工業問題

企業の経営は厳しい状況であるが、町内企業に新規雇用促進を図るよう要望をおこなう考えは。

(3) 商業問題

幸田駅前には現在、区画整理事業による基盤整備が進められている。共同化事業の中で、飲食店などの計画は。

(4) 農業再起動

産業活性化支援補助の対象事業の内容は。

多様な産業が育つまちづくり

積極的に諸課題に対処

答

(環境経済部長)

(1) 農地の集積化や営農の組織化を進めたい。

品種選定や農業施設の整備を関係機関などと進めていく。

(2) 企業や商工会にお願いしていきたい。

(3) 食事や総菜販売のテナントを募集中である。

(4) 筆柿の甘渋判定の光源改良の研究開発と、その他1件で補助を実施。問い合わせも多数ある。



都築 一三 議員

問 竹林から森林へ里山づくり

答 住民の自発的な取り組みに期待



侵食する竹林

問 竹がふるさと幸田を駆逐している。緑豊かな緑住文化都市をめざしているが、この目標をあざ笑うかのごとき竹が山を席巻している。自然は一度破壊してしまえば修復はたやすいものではない。

答 **環境経済部長** 本町は森林面積が4割を超えており、自然に恵まれているが、管理をする人が少なくなり、里山も荒廃し始めている。「あいち森と緑づくり」の事業が活用できるか検討したい。また、竹林の駆除方法は、町も除草剤を

がスクラムを組んで取り組む考えは。

新駅広場の構想は

注入するなどの実験もしたが、妙案がない。
竹林のほとんどが私有地であり、ボランティアやNPOの活動で住民の環境保全への気運が高まれば、公的な助成制度を関係機関に当たり、支援を検討する。

コンセプトに合わせた景観に

答 **建設部長** (1) 駅前広場の計画は相見のまちづくりと駅舎のコンセプトに合わせた景観づくりであり、円滑な交通処理、使い勝手のいい広場としたい。モニメントは区画整理組合が検討中である。

(2) 植栽は「あいち森と緑づくり」の事業を活用して、ケヤキ道路を駅前に接続する。

(3) 平成10年度から、54haの整備を開始し、約7割の工事が進んでいる。来春の開業に合わせて周辺整備をしている。

その他の質問項目

- (1) 新駅の駅前広場の構想と計画は。
- (2) 「あいち森と緑づくり」の補助金活用は。
- (3) 相見地区の整備・進捗状況は。
- ・新駅で経済発展を促す。
- ・幸田町の売りは何か。
- ・3駅プラス1の発想とは。
- ・NPO法人設立。
- ・ボランティア活動の育成と推進を。

委員会レポート

閉会中の各委員会活動状況

総務

7月23・24日 事業仕分け

5月20日 協議会開催

対応していく。

非常食を充実

7月23・24日に実施される「幸田町版事業仕分け」の詳細が示めされた。

Q 仕分け人は決定しているか。

A 町に3カ月以上住所を有する18歳以上の1000人を無作為に抽出し60人募集する。応募多数の場合は抽選。6月末に決定。

Q 判定人の出す結果は、「○」か「×」か。

A 「不要」「他で実施」「要改善」「継続」「拡充」。結果は民意であり慎重に

Q 東日本大震災を教訓に、地域の特性に応じたスタンスの確立を。

A 地域に適した防災計画で見直していく。

Q 防災倉庫の管理は、どこか。

A 消防本部が管理している。

Q 備蓄品を増やして均等に配分を。

A 非常食は早い時期に充実できるようにすすめていく。



防災倉庫の中

土砂災害警戒区域 7カ所拡大

産業建設

5月19日 協議会開催

上水道施設の耐震化

大雨による土石流・急傾斜地の崩壊が想定される区域、里区3カ所、荻区4カ所の計7カ所が追加指定。

Q 指定を受けると。

A 地区は避難体制を作り、町災害情報により早期避難をおこなう。

Q 土砂災害警戒情報の発表と周知は。

A 大雨警報発表中、土砂災害の危険が高まった時県が発表し、町は行政無線で周知する。

平成24年度の完成を目指し、坂崎第3受水点の整備事業をすすめている。

Q 本事業完了時の配水管の耐震化率は。

A 平成22年度末77%、23年度末84%、24年度末91%になる。

Q 他の施設の耐震化は。

A 施設構造物は耐震済、配水管は補助事業や区画整理事業などで耐震化を検討していく。

Q 水道ビジョンの見直しの考えは。

A 耐震化促進のため、今後見直しを検討。



指定された警戒区域

働く世代の 大腸がん検診

文教福祉



がん検診の拡大

5月16日 協議会開催

平成23年度、新規・改善の保健事業

・メタボ講演会の実施。

・働く世代の大腸がん検診。

40・45・50・55・60歳が対象。

・歯周疾患検診。

20歳も対象になる。

・できる男の健康料理塾。

2回から7回に拡充。

6月15日 協議会

緊急開催

大草・菱池保育園で

休日保育

自動車関連産業の7月か

ら9月の土日操業を受け、保育園の休日保育、放課後児童クラブおよび放課後子ども教室の休日開設を実施。

保育料・手数料は無料。

対象の園児・児童数は。

大草保育園は35人、菱池保育園は59人。放課後児童クラブは47人、放課後子ども教室は約20人で共に中央小学校で開設。

運営体制の補充は。

期間限定で嘱託職員2人、アルバイト6人、数人の指導員を採用する。

初めての取り組みで安全面は大丈夫か。

充分配慮していく。

Q

A

Q

A

Q

A

特別委員会構成

6月23日特別委員会設置

・防災対策特別委員会（定数8人）

委員長	伊藤 宗次		
副委員長	鈴木 雅史		
委員	内田 等	夏目 一成	
	酒向 弘康	浅井 武光	
	中根 久治	中根 秋男	

・総合開発特別委員会（定数7人）

委員長	笹野 康男		
副委員長	杉浦あきら		
委員	大嶽 弘	丸山千代子	
	水野千代子	都築 一三	
	志賀 恒男		

編集後記

朱塗りの山門に白い壁、深溝本光寺の紫陽花を見ってきました。

今年の特徴は、「冬の寒さが影響し、いつもより開花が遅れた。」との話でした。

6月議会定例会の特色は、新人議員6人の誕生で新鮮・斬新な意見と、10人の議員による一般質問が新風となりました。

東日本大震災の教訓を生かし、議員提案で、防災対策特別委員会を設置しました。

激しく変化する社会情勢の中、広報委員一同、日々研鑽を積み、楽しく分かりやすい広報紙づくりに努めたいと考えています。

（大嶽 弘）

発行責任者
議長 池田 久男

議会広報特別委員会

委員長 大嶽 弘

副委員長 丸山千代子

委員 水野千代子

〃 酒向 弘康

〃 都築 一三

〃 中根 久治

〃 志賀 恒男

豊坂小学校6年

山本浩大くん



あい・らぶ・マイタウン

南部中学校3年

田村花来さん



元気なお年寄が多い

ぼくたちが住んでいる豊坂には、お年寄りの方が多くいます。みんなとても元気なので、ほとんどの方が外に出ています。お年寄りどうして話をしていたり、せつせつせと畑を耕したりしています。ぼくが学校へ行くときには、「おはようございます。」とあいさつをすると、にこにこしてこたえてくれます。それだけでも気持ちがよくなつてうれしくなります。ぼくのおじいちゃん、野場にある畑で主に野菜を

育てています。ぼくのおじいちゃんもとても元気に働いています。幸田にはおいしい野菜がたくさんあります。ぼくは将来、そこで野菜を育てて家族に食べさせたいです。そしてみんなが元気になるようにしたいなと思います。



地域に支えられての「交流会」

南部中学校には、平成12年度から続く「交流会」があります。初年度から講師を続けてくださっている方が4名もみえることを校長先生が教えてくださいました。今年も12講座が開かれ、私たちに文化や技を教えてくださいます。私は「ちぎり絵」の講座に参加しています。この時

間は、文化や技を講師の方々から学ぶだけではなく、私にとって心がほっとする時間となっています。牛乳パックで鉛筆立てをつくりながら幸田町への想いを語ってくださいる方や、昔の様子を伝えてくださる方などがいらつしやいます。幸田を大切に、南中生を大切に思ってください

幸田中学3年

三輪侑菜さん



あいさつから

幸田町の一番好きなのは、やはり、地域とのかかわりを大切にすることです。

私は、毎朝学校へ行く途中、地域のいろいろな方とあいさつをします。いつもあいさつをしてくれるおじいさんは「おはようございます。」と言うと必ず「おはよう。いつてらつしやい。」と返してくれます。私にとって、毎朝のあいさつは、「よし！一日頑張るぞ！」という気持ちにさせてくれる、なくてはならないものになっています。



幸田町民すべての人がそういう気持ちを持つためには、まだ地域の方とのあいさつがたりないと思います。まずは、身近な人からあいさつをして地域のかかわりを深め、もっと明るい幸田町を作っていきたいと思っています。

あなたも議会を傍聴してみませんか

9月定例会、本会議の予定です。

●会期の日程

- 9月 1日(木) 開会、議案の説明
- 6日(火) 一般質問
- 7日(水) //
- 12日(月) 議案の質疑
- 13日(火) //
- 30日(金) 討論、採決、閉会

●場 所 役場5階 議場

●時 間 午前9時から

◎詳しくは議会事務局へ

☎ 63-5151 (直通)